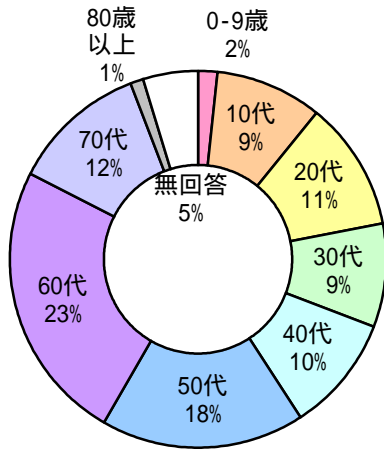


# 「中国国宝展」 アンケート集計結果

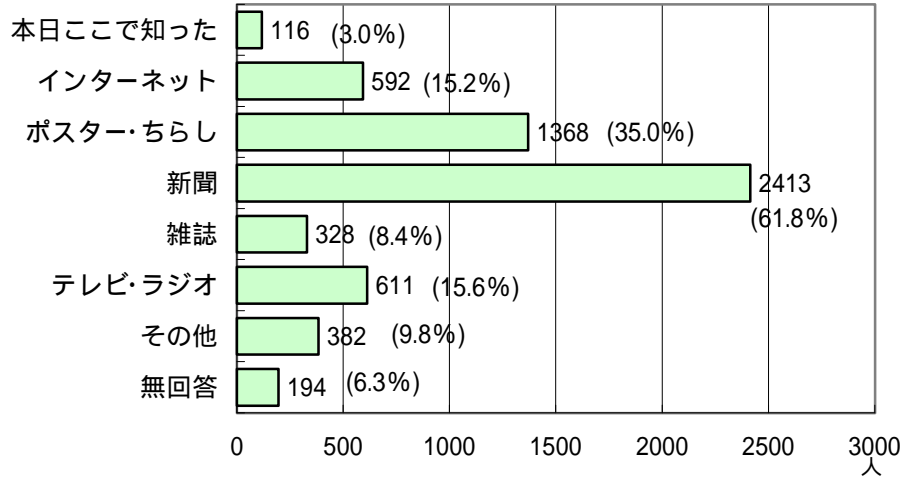
開催期間：平成16年9月28日～11月28日

総回答者数：3,907人（入館者数 272,754人 アンケート回収率 1.4%）

年齢層



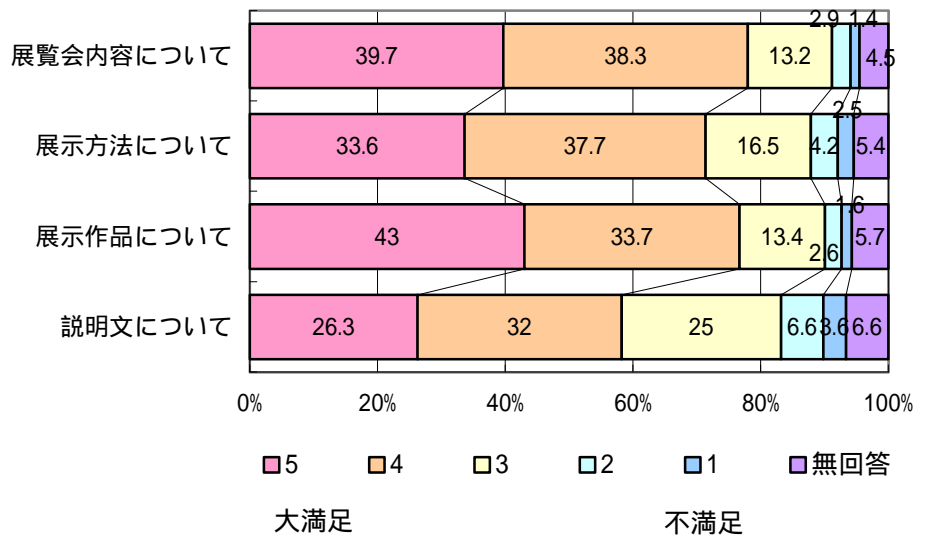
認知経路（複数回答）



印象に残った作品

1位 No. 54 金縷玉衣	562人
2位 No. 98 菩薩立像	140人
3位 No. 53 鶴	61人
4位 No. 97 如来三尊立像	37人
5位 No. 1手	33人

展示に関する満足度



## 主な意見・感想

- ・色々な時代の仏像の表現の違いを見比べられ、とても面白かった。(20代・大学生)
- ・最近の発掘を含め中国文化をじっくりと捉えた展示で、得るものが多かった。(60代・)
- ・照明の具合や布製スクリーンの仕切りなど展示方法が工夫され、とても見やすかった。(60代・主婦)
- ・国宝展という名称から幅広い分野の展示を期待していたが、仏教関係が多すぎた。(50代・教員、公務員)
- ・説明文が難解でした。もっと詳しく、分かりやすくしてほしいです。(30代・会社員)
- ・大変な混雑なので、人の流れを整理するなどゆっくり鑑賞できるようにしてほしい。(70代・無職)

今回のアンケートでは、出展された中国の貴重な文化財の数々について多くのご好評をいただきました。特に日本初公開の「金縷玉衣」は、回答者の約14%にあたる562人の方が印象に残った作品に挙げられました。

また、本展は「考古学の新発見」と「仏教美術」に焦点を当てて展覧いたしました。ご意見のほか、「もっと他の分野の作品についても見てみたい」とのご要望も寄せられました。

全体としては回答者の約78%の方から満足との評価をいただくことができました。貴重なご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。今後ご協力よろしくお願いたします。